

六条大麦の茎立ち期及び出穂期予測法



農業総合センター農業研究所

マサカドムギの茎立ち期の目安は、草丈が16cm程度に達した時期です。カシマムギ及びマサカドムギの出穂期は調査地域にかかわらず幼穂長と出穂期までの積算気温から予測することができます。

草丈からの主穂長の予測

マサカドムギの草丈と主穂長には正の相関が認められます(図1)。これから導き出された主穂長が20mmに達する茎立ち期は、草丈が約16cmとなります(表1)。

そのため、この時期から主穂長を調査することにより効率的に茎立ち期を判定することができます。

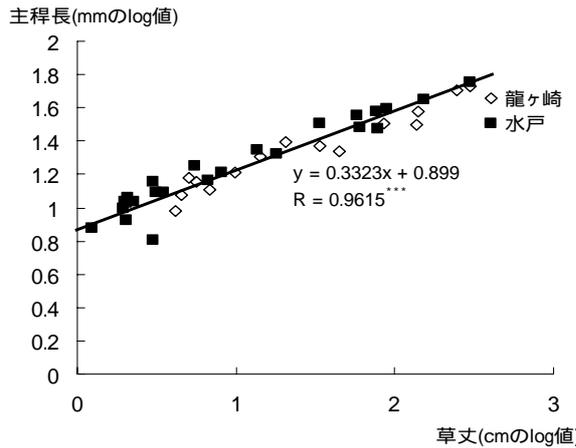


表1 マサカドムギの草丈と対応する主穂長

| 草丈(cm) | 主穂長(mm) |
|--------|---------|
| 5 | 13.5 |
| 10 | 17.0 |
| 15 | 19.5 |
| 16 | 19.9 |
| 17 | 20.3 |
| 18 | 20.7 |
| 19 | 21.1 |
| 20 | 21.4 |

図1 マサカドムギの草丈と主穂長の関係

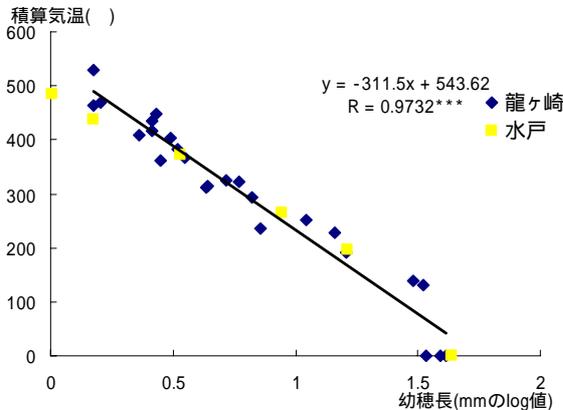


図2 カシマムギの幼穂長(1mm以上)と出穂までの積算気温の関係

出穂期の予測法

主穂の幼穂長(1mm以上)と幼穂調査日の翌日から出穂期までの積算気温には密接な関係があり、調査地点にかかわらず同じ関係式で予測することができます(図2)。アメダス等の平均気温のデータを用いることにより、図3のような予測表を作成することができ、現地圃場で幼穂長を測定することにより、その場で出穂期を予測することができます。

注意点

本手法は県栽培基準に準じた適正な生育の大麦に適用することができます。しかし、出穂期に近い時期での予測はできません。県内各アメダスデータから作成した予測表は配布可能です。

| 月 | 3 | 4 | 5 |
|---------------|------------------|------------------------|--------|
| 日 | 1 10 20 30 | 1 6 11 16 21 26 | 1 5 |
| 調査日と幼穂長 | 1 2 3 5 | 1 2 3 5 10 | 1 5 |
| 幼穂長の位置は調査日を示す | ↑ | → | |

平均気温が平年+1
平均気温が平年並み
平均気温が平年-1

図3 カシマムギの出穂期予測(龍ヶ崎用)